



藤枝どぼニュース

「能登半島地震」で被害を受けた “水道管の復旧支援”を実施しました！

令和6年元日に発生した能登半島地震は、石川県能登地方を中心に甚大な被害をもたらし、最大約11万戸が断水しました。そこで藤枝市では、公益社団法人日本水道協会の静岡県支部と連携し、「水道管の復旧支援」を実施しました。実施にあたっては、藤枝建設業協同組合及び藤枝市水道指定工事店協同組合の参加協力を得ながら、市職員と共に珠州市へ計2回の派遣を行いました。復旧内容としては配水管工事6件、給水管工事7件を実施しましたが、配水管工事の内5件が水道管の接続箇所が抜けてしまったことが被災の原因でした。



【派遣された職員の声】

復旧に使用する材料の種類や個数に限りがある中で、被災箇所の状況を正確に把握して最適な材料を選び出し、早期に復旧する必要があったため、常に緊張感を持って支援活動に臨みました。

また今回、水道管応急復旧支援に参加し、改めて『水』の大切さを実感しました。被災地では現在も断水が続いており、蛇口をひねれば水が出るという、ごくあたりまえの生活を送ることが困難となっています。本市においてもいつ被災し大規模な断水が発生するかわからないので、今回の経験を今後の公務員人生に生かし、緊急時においても冷静かつ的確な判断ができるよう努めます。